

## 回復期リハビリテーション病棟の FIM実績指数報告

◆ F I Mとは、機能的自立度評価表（Functional independence Measure）の略で、実際の日常生活で行っている活動を7点満点の18項目（食事、更衣、移動、排泄等）の運動項目で評価する方法です。

F I M実績指数は、回復期リハビリテーション病棟に入院してどの程度日常生活が改善したかの指標になります。40点以上が、効果に係る相当程度の実績が認められます。

◆実績指数算出期間 2025年4月1日 ～ 2025年9月30日

①	回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	204名
②	①のうち実績指数の計算対象とした患者数	156名
③	②の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除した総和	4,249
④	③の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数で除したものの総和	91.60
⑤	実績指数（③／④）	46.39点

### 3階東病棟 回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

当該病棟の退院期間 2025年7月1日 ~ 2025年9月30日		
入院患者の構成	当該病棟の退院患者数	64名
	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	28名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等の状態	24名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	8名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	2名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名

### 3階西病棟 回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

当該病棟の退院期間 2025年7月1日 ~ 2025年9月30日		
入院患者の構成	当該病棟の退院患者数	55名
	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	21名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等の状態	25名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名